



Banco MUFG Brasil S.A.

Treasury & Markets
Av. Paulista, 1274 – Bela Vista
São Paulo, SP – 01310-925

1. マーケット・レート

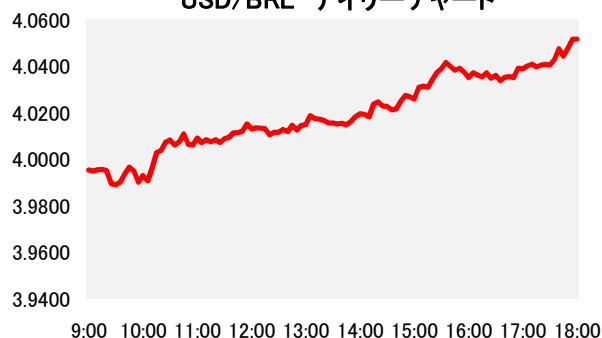
			8月8日	8月9日	8月12日	8月13日	8月14日	Net Chg
為替	USD/BRL	Spot	3.9190	3.9430	3.9850	3.9680	4.0520	+0.0840
	BRL/JPY	Spot	27.050	26.800	26.42	26.93	26.13	-0.80
	EUR/USD	Spot	1.1183	1.1200	1.1215	1.1171	1.1139	-0.0032
	USD/JPY	Spot	106.03	105.70	105.29	106.74	105.88	-0.86
金利	Brazil DI	6MTH(p.a.)	5.420	5.030	5.364	5.096	5.394	+0.298
	Future	1Year(p.a.)	5.336	5.306	5.303	5.316	5.368	+0.052
	On-shore	6MTH(p.a.)	2.635	2.634	2.699	2.849	2.836	-0.013
	USD	1Year(p.a.)	2.396	2.398	2.392	2.545	2.538	-0.007
株式	Bovespa指数		104,115.20	103,996.20	101,915.30	103,299.50	100,258.00	-3,041.50
CDS	CDS Brazil 5y		131.71	132.38	134.90	134.43	140.05	+5.62
商品	CRB指数		170.322	172.091	170.623	173.087	170.645	-2.44

* これらはインターバンク市場等におけるブラジル市場終了時のインディケーションです。実際のレート提示は弊社担当アカウント・オフィサーまでお問い合わせ下さい。

2. 主要経済指標

イベント	予想	実績	前回
(米)MBA住宅ローン申請指数	--	21.70%	5.30%
(米)輸入物価指数(前月比)	-0.10%	0.20%	-1.10%
(米)輸入物価指数(前年比)	-2.00%	-1.80%	-2.00%
(米)輸出物価指数(前月比)	-0.10%	0.20%	-0.60%
(米)輸出物価指数(前年比)	--	-0.90%	-1.60%

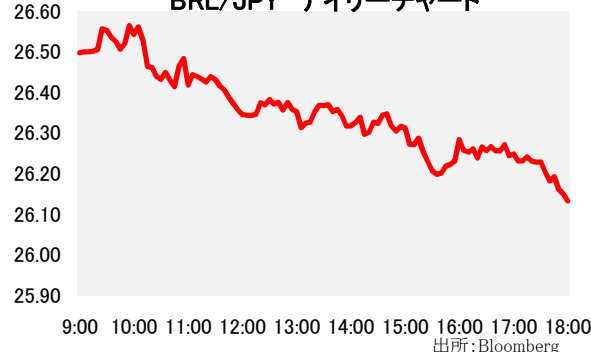
USD/BRL デイリーチャート



3. 要人コメント

トランプ米大統領	「米国の問題は金融当局だ。過去の利上げは幅もスピードも行き過ぎていた」
----------	-------------------------------------

BRL/JPY デイリーチャート



4. トピックス

- 本日は世界的に景気後退のシグナルが散見されたことから、リアルは反落。中国の7月鉱工業生産が2002年以来の低い伸びにとどまったほか、欧州経済の牽引役であるドイツも3四半期ぶりにマイナス成長に陥った。また米国と英国では2年債と10年債の利回りが逆転。長短金利の逆転は将来のリセッションのシグナルとされることから、グローバルスローダウンに対する懸念が高まった。これらを受け、円、スイスフランやドルなどの安全資産が買われる一方、株式や新興国通貨などのリスク資産は軒並み売られた。リアルは3.9980での寄り付き直後に日中高値3.9890を付けたものの、その後下落を続け、結局日中安値となる4.0520でクローズ。
- 本日、米国においてグローバル金融危機直前の2006年以来初めて2年債と10年債利回りが逆転した。米国では1980年代後半以降かかる逆転現象は3回(1989年、2000年、2006年)観察されており、それらの約1年後に必ずリセッション(2期連続マイナス成長)に陥ってきた。足許、Liborや米国短期証券(所謂T-Bill)利回りなどの短期金利と10年債利回りは既に逆転しておりネガティブキャリーの状況だったが、2年債と10年債利回りも逆転するに至り、市場における景気後退への懸念が一段と高まったものとみられる。

当資料は一般的な情報提供のみを目的として作成されたものであり、特定のお客様のニーズ、財務状況又は投資対象に対応することを意図しておりません。また、当資料は、適用法令上許容される範囲内でのみ利用可能であり、当資料の頒布を制約する法令が存在する地域の方によって利用されることを意図しておりません。当資料内のいかなる情報又は意見も、預金、有価証券、デリバティブ取引その他の金融商品の売買、投資、保有などを勧誘又は推奨するものではありません。資料は信頼できるとされる情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性、適時性、適切性又は完全性を表明又は保証するものではなく、当行、その子会社又は関連会社は、お客様による当資料の利用等に関して生じうるいかなる損害についても責任を負いません。ご利用に関しては、すべて お客様御自身でご判断下さいませよう、宜しくお願い申し上げます。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料の内容は予告なしに変更することがあり、また、当行、その子会社又は関連会社は、当資料を更新する義務を負っておりません。また、当資料は 著作物であり、著作権法により保護されています。当行の書面による許可なく複製又は第三者、個人顧客もしくは一般投資家への配布をすることはできません。